

議長



## 政務活動費交付請求書

令和 8年 2月 5日

四日市市長

会派名 公明党

代表者氏名 中川 雅晶



四日市市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第4条第1項の規定に基づ

き、令和 8年 1月分政務活動費の交付を次のとおり請求します。

1 請求額 52,034円

2. 政務活動費の対象となる経費

区分	金額	備考
調査研究費	30,280	
研修費		
資料作成費		
資料購入費	1,736	
要請・陳情活動費		
会議費		
広報費		
広聴費		
人件費		
事務費	20,018	
合計	52,034	

※概算払・前金払がある場合は、備考にその別を記載すること。

経理責任者

本木

# 内 訳 明 細

1月分 No. 1

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費	30,280	1/20 尼崎市視察 8,820 円 1/26 鎌倉市視察 21,460 円
研 修 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費	1,736	書籍 1,056 円 配送料 680 円
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費	1,962	ファイル、ノート他
合 計	33,978	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること。

( 調査研究、研修、要請・陳情活動、会議 ) 旅 費 明 細

会 派 名	公明党							
参加者氏名	中川 雅晶							
用務先	尼崎市							
実施日	令和8年1月20日 (火)							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路 線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
1/20	近鉄 四日市 ~ 大阪難波	152.8 KM	近鉄	2,430 円	1,640 円	円	(1泊目)	(1泊目)
	大阪難波 ~ 尼崎	10.1 KM	JR	340 円	円	円	円	神奈川県 【上限額】 (22,000 円)
	尼崎 ~ 出屋敷	1.2 KM	JR	↓ 円	円	円		
	出屋敷 ~ 尼崎	1.2 KM	JR	340 円	円	円		
	尼崎 ~ 大阪難波	10.1 KM	JR	↓ 円	円	円		
	大阪難波 ~ 近鉄 四日市	152.8 KM	JR	2,430 円	1,640 円	円		
	~	KM		円	円	円	(2泊目)	(2泊目)
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円	(3泊目)	(3泊目)
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択 0 円	都道府県を選択 円 【上限額】 (0 円)
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
	~	KM		円	円	円		
小 計				5,540 円	3,280 円	0 円	円	円
合 計				8,820				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和 8年 2月 4日

実施日時	令和 8年 1月 20日（火） 13時 30分 ～ 15時 00分
参加者氏名	中川雅晶
用務先	兵庫県尼崎市 南部保健福祉センター
対応者	尼崎市 南部保健福祉センター 南部福祉管理課 課長 鈴木謙二氏 係長 日高理浩氏 係長 泉 旭洋氏
目的・内容	別紙 視察質問項目を添付

成果・所感	別紙 視察報告書を添付
-------	----------------

# 尼崎市生活保護医療扶助オンライン資格確認に関する視察報告書

## 1. 制度導入の目的と背景

医療扶助費の増加に対応し、適正かつ迅速な給付を実現するため、オンライン資格確認システムの導入が進められている。従来の紙媒体による医療券発行では、確認や処理に時間を要することが課題であり、デジタル化による効率化と適正化が期待されている。

## 2. 導入までの経過と本格運用時期

LGWAN 接続やサーバー設定等の技術的課題により、運用開始までに一定の時間を要した。現在は生活保護システム、レセプト管理システム、オンライン資格確認システムの各種改修を経て、段階的に本格運用が進められている。

## 3. システム改修と情報連携

生活保護システムと資格確認システム間でのデータ連携が行われており、医療券発行情報のアップロードやエラー対応が可能となっている。標準化システムへの移行が未完了のため、紙媒体との併用が継続されているとのことでした。

## 4. 医療券との併用運用

三師会との協議により、システム安定運用まで紙媒体の医療券発行を継続。併用により大きな混乱はないが、郵送事務の煩雑さが課題であり、段階的な郵送削減が検討されているとのことでした。

## 5. 被保護者への周知と配慮

マイナンバーカード保有率が低いため、通知にチラシを同封するなど広報を強化。高齢者やデジタル対応困難者への支援策については、マイナンバー担当課と連携しながら検討中とのことでした。

## 6. 医療機関との連携

三師会との協議を継続しつつ、資格確認システム対応可能な医療機関から順次医療券発行を取りやめる方針ですが、医療機関側の対応状況の把握が今後の課題であるとのことでした。

## 7. 運用状況とトラブル対応

医療券未発券にも関わらずレセプト請求が行われるケースがあるとのことでした。委託業者がリスト化し、担当者が発券処理を行っているが、事務負担が増大とのことでした。医療機関にはチラシで注意喚起を実施しているとのことでした。

## 8. 事務負担軽減と業務効率化

紙媒体とオンラインの併用により現時点では負担軽減には至っていないが、医療機関側の確認が迅速化され、今後双方向の情報連携が実現すれば、意見書の郵送不要化や重複受診の早期発見が可能となり、効率化が期待されるとのことでした。

## 9. 医療扶助の適正化

健康保険資格喪失の早期確認により過誤請求防止に寄与している。オンライン資格情報により、当月内での重複・頻回受診の把握が可能となり、早期の助言・指導が実現できているとのことでした。

## 10. 今後の課題と他自治体への示唆

紙とオンラインの併用は一時的に事務負担増となるが、双方のスキル向上により迅速な対応が可能になります。他自治体への助言としては、医療機関との連携強化と段階的導入の重要性が挙げられるとのことでした。

視察から課題も見えてきましたが、本市においてもシステム変更の上、医療機関や薬局等と連携協した上で推進していくべきだと考えます。

## 尼崎市生活保護医療扶助オンライン資格確認に関する視察質問項目

四日市市議会議員 中川雅晶

### 1. 制度導入の目的と背景について

生活保護医療扶助にオンライン資格確認を導入した目的について伺います。あわせて、従来の医療券運用において尼崎市が認識していた課題についてお聞かせください。

### 2. 導入までの経過および本格運用時期について

令和6年3月からの本格運用を見送り、令和6年10月から利用開始に至った経過と、その間に生じた課題や検討事項について伺います。

### 3. システム改修および情報連携の内容について

生活保護システムとオンライン資格確認システムとの情報連携の範囲について伺います。また、市として対応した主なシステム改修の内容についてお示しください。

### 4. 医療券との併用運用の考え方について

オンライン資格確認の運用開始後も医療券の発行を継続している理由について伺います。併用運用によるメリットおよび課題について、どのように整理されているかお聞かせください。

### 5. 被保護者への周知および配慮について

被保護者に対する制度周知の方法について伺います。また、マイナンバーカード未保有者や高齢者等、デジタル対応が困難な方への配慮策についてお聞かせください。

### 6. 医療機関との連携および理解促進について

医師会等の関係団体との協議状況について伺います。あわせて、医療機関側におけるオンライン資格確認への対応状況や、理解促進に向けた取組についてお聞かせください。

### 7. 導入後の運用状況およびトラブル対応について

運用開始後に発生している課題やトラブルの有無について伺います。また、それらに対する市の対応体制についてお聞かせください。

**8. 事務負担軽減・業務効率化の効果について**

本制度の導入により、市職員および医療機関双方において、事務負担の軽減や業務効率化の効果がどの程度見られているか伺います。

**9. 医療扶助の適正化への効果について**

資格誤認防止や過誤請求防止など、医療扶助の適正化に関して、具体的にどのような効果があったのか伺います。

**10. 今後の課題および他自治体への示唆について**

本制度を円滑に定着させるための今後の課題について伺います。また、これから導入を検討する他自治体に対する助言や留意点についてお聞かせください。

( 調査研究、研修、要請・陳情活動、会議 ) 旅 費 明 細

会 派 名	公明党							
参加者氏名	中川 雅晶							
用務先	鎌倉市							
実施日	令和8年1月26日 (月)							
目 的	視察							
月日	発 着	路 程	路 線	運 賃	特・急行料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
1/26	近鉄 四日市 ~ 名古屋	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	(1泊目)	(1泊目)
	名古屋 ~ 小田原	282.1 KM	JR	5,720 円	3,730 円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	小田原 ~ 大船	37.4 KM	JR	↓ 円	円	円	0 円	円
	大船 ~ 鎌倉	4.5 KM	JR	↓ 円	円	円		【上限額】
	鎌倉 ~ 大船	4.5 KM	JR	円	円	円		(0 円)
	大船 ~ 小田原	37.4 KM	JR	5,720 円	円	円	(2泊目)	(2泊目)
	小田原 ~ 名古屋	282.1 KM	JR	↓ 円	3,730 円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	名古屋 ~ 近鉄 四日市	36.9 KM	近鉄	760 円	520 円	円	0 円	円
	~	KM		円	円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(0 円)
	~	KM		円	円	円	(3泊目)	(3泊目)
	~	KM		円	円	円	食事プランを選択	都道府県を選択
	~	KM		円	円	円	0 円	円
	~	KM		円	円	円		【上限額】
	~	KM		円	円	円		(0 円)
小 計				12,960 円	8,500 円	0 円	円	円
合 計				<b>21,460</b>				

※精算

	運 賃	特・急料	特別料金	宿泊手当	(包括)宿泊費
精 算 額	円	円	円	円	円
差 引 額					
過 不 足 の 理 由					

（調査研究、研修、要請・陳情活動、会議）報告書

令和 8年 2月 4日

実施日時	令和 8年 1月 26日（月）13時30分 ～ 15時00分
参加者氏名	中川雅晶
用務先	神奈川県鎌倉市
対応者	鎌倉市教育委員会 次長 小原 聡真氏
目的・内容	別紙 視察質問項目を添付

<p>成果・所感</p>	<p>別紙</p> <p>視察報告書を添付</p>
--------------	---------------------------

# 鎌倉市教育委員会 視察質問項目

四日市市議会議員 中川雅晶

## 1. 教育ビジョン全体・理念形成について

(1) 鎌倉市教育ビジョンにおいて、「炭火」に象徴される生涯学習観は、どのような議論や背景を経て形成されたのでしょうか。

また、当該理念について、教育委員会内部および学校現場において、どのような方法で共有・浸透を図ってこられたのか伺います。

(2) 教育ビジョン策定の過程において、子ども、保護者、教職員、地域住民等の意見は、どのような形で収集・反映されたのか、その具体的手法と工夫について伺います。

## 2. 子ども主体・「問い」から始まる学びの実装について

(1) 子ども自身の「問い」を起点とした学びを、学習指導要領との整合性をどのように整理し、各学校で具体的に実践しているのか伺います。

(2) 探究的な学びにおける評価について、通知表・成績評価・ポートフォリオ等はどのように設計・運用されているのか。

あわせて、評価方法について保護者の理解をどのように得ているのか伺います。

## 3. 鎌倉の自然・文化・人を活かした学びについて

(1) 海・森・寺社・地域人材等を学びのフィールドとして活用する際の、安全管理、責任体制、予算措置はどのように整備されているのか伺います。

また、都市部・地方部を問わず、他自治体が同様の取組を導入する際の留意点や課題についてお示しください。

## 8. 市費による正規教員採用制度について

(1)市費負担による正規教員採用制度の構築に至った経緯および、導入に踏み切った理由について伺います。

(2)採用された教員に対するキャリアアップの仕組みや、研修・評価制度はどのように設計されているのか伺います。

(3)県教育委員会との役割分担、連携状況、制度に対する評価や位置づけについて伺います。

# 鎌倉市教育委員会 視察報告書

視察日: 2026年1月26日

視察先: 鎌倉市教育委員会

報告者: 四日市市議会議員 中川雅晶

## 1. 鎌倉市教育ビジョンと「炭火」の理念

鎌倉市は、生涯学習のあり方を「炭火」になぞらえ、一人ひとりの内側にある興味・関心の火を絶やさず、自ら学び続ける姿勢を重視しています。

- 理念の形成と浸透: 福島での復興教育の経験等を背景に、予測困難な時代を生き抜く力を育むため、「子どもが主役」の学びへの転換を図っています。
- ステークホルダーの参画: ビジョン策定にあたっては、子どもや保護者、地域住民の声を取り入れるプロセスを重視し、対話を通じた合意形成を図っています。

## 2. 子ども主体・「問い」から始まる学び

学習指導要領との整合性を保ちつつ、子どもの「知りたい」という問いを起点とした授業実践を展開しています。

- 探究的な学びと評価: 通知表やポートフォリオの活用において、数値化できない意欲やプロセスをどう評価するか、保護者の理解を得ながら進めています。
- フィールドの活用: 海、森、寺社といった鎌倉独自の資源を学びの場として活用。安全管理や予算措置を講じるとともに、不登校傾向にある子どもの「学びの回復の場」としても機能させています。

### 3. 官民連携と持続可能な教育体制

- スクールコラボファンド: 外部の知見や財源を柔軟に取り入れる仕組みを構築。教育の中立性を担保しつつ、企業や大学と連携した多様なプログラムを提供しています。
- 教師の役割転換: 教師は「教える人」から、子どもの学びを伴走・支援する「コーディネーター」への転換が求められており、それに合わせた研修やマネジメントの見直しが進んでいます。

### 4. 市費負担による正規教員(任期付)採用制度

鎌倉市独自の教育施策を推進するため、市独自の財源による教員採用を実施しています。

- 導入の背景: 質の高い教員を安定的に確保し、鎌倉市が目指す「探究的な学び」を加速させるため、県負担分とは別に市独自の採用枠を設けています。
- 制度の特徴:
  - 任期: 令和7年4月1日から令和10年3月31日までの3年間(更新の可能性あり)。
  - 職務内容: 小学校または中学校における教育業務全般(学級担任、教科指導、校務分掌等)に従事します。
  - 身分: 地方公務員法に基づく一般職の任期付職員(正規職員)として採用されます。
- 連携と評価: 神奈川県教育委員会との役割分担を明確にしつつ、市独自のキャリアアップ研修や評価制度を設計し、組織の活性化を図っています。

### 5. 考察と今後の展開

鎌倉市の取り組みは、偏差値や序列に縛られない「学びの価値」を社会に提示する挑戦です。デジタル技術(AI)の活用による教員の負担軽減や、福島での経験を活かしたレジリエンス教育など、他自治体においても極めて示唆に富むモデルケースといえます。市費負担による任期付職員採用制度は、教員不足対策というより、スキ

ルと情熱を持った教員を採用することが目的でありました。学校教育現場での気づきや化学反応が期待されているようでした。

今後は、これらの先進的事例を本市においてどのように適応・展開できるか、予算措置や地域資源の活用を含め、さらに深化させる必要があります。

ご注文番号：26011713314527 の領収書 (WEB発行)

このページを印刷してご利用下さい

中川 雅晶 様

領収日付：2026/01/18

お支払い方法：クレジットカード

ご注文明細				
商品コード	商品名	単価	数量	小計
9784004320418	[和書] 教員不足-誰が子どもを支えるのか 岩波新書	1,056円	1	1,056円
			ご注文の小計：1,056円 配送料：680円 10%対象:1,736円 消費税:157円 ご注文の合計：1,736円 内消費税：157円 領収額：1,736円	

株式会社 紀伊國屋書店 ネットビジネス部・電子書籍事業部

〒153-8504 東京都目黒区下目黒3-7-10

登録番号 T4011101005131

2026/01/21



非正規の増大、軽視される専門性、  
激務に追われる先生たち……

「公」としての学校を  
どう立て直すか

独自調査で  
検証

岩波新書

定価(税10%)  
1056円

補充注文カード

書店(帖合)印

注文日 月 日

注文数

冊

**新**

教員不足

岩波書店 佐久間亜紀

9784004320418



ISBN978-4-00-432041-8  
C0237 Y960E

定価  
(本体 960円 + 税)

432041

9784004320418

1920237009609

ISBN978-4-00-432041-8

C0237 ¥960E

定価(本体960円+税)



教員不足という言葉は、この数年間で一気に知られるようになった。しかし、それは社会問題として言葉が認知されたにすぎず、〔中略〕きちんと理解されたわけではないだろう。例えば、最近はこの業界も人手不足だから教員も不足して当然だ、と言う人も少なくないが、常識的に考えれば、少子化が急激に進んでいるのだから教員需要も急激に減っているはずである。それなのに、なぜいま、教員不足なのか？

(「はじめに」より)

領収証

四日市誠会 議員 様  
中川 雅晶 様

¥1,962-

但し、商品代( )として上記正に領収しました  
消費税額 178円を含みます  
(明細部分の \*印は軽減税率(8%)適用商品です)

DCM株式会社 DCM 四日市店  
TEL 059-351-0164  
保管いただく場合は印刷面を内側に折って保管願います

2026年01月07日(水)

010215-0003-2472  
登録番号 17010701039115

--- 領収証証明番号 ---

2026年01月07日(水)16:48 15\*0003

- 016 キャンパス用カッター B5 \*492
- 016 トンボ ホールペーパー \*272
- 016 P7用シート77x111 A4S \*327
- 016 P7用シート77x111 A4S \*327
- 016 P7用シート77x111 A4S \*327
- 016 DCMクリアホルダー 10枚 \*217

合計 \*1,962  
送料 \*178  
(为10%控額)  
送料 \*178  
(为10%控額)

現金 \*10,102  
お買上振替 6枚 \*8,140

\*印は軽減税率(8%)適用商品です  
◆印は消費税課税の控額商品です

DCMアプリでお買い物を便利に！  
アプリをダウンロードしてください！



# 内 訳 明 細

8年 1月分 No. 6

区 分	金 額	内 容
調 査 研 究 費		
研 修 費		
資 料 作 成 費		
資 料 購 入 費		
要 請 ・ 陳 情 活 動 費		
会 議 費		
広 報 費		
広 聴 費		
人 件 費		
事 務 費	18,056	コピー機リース料・カウン ト料 1月分
合 計	18,056	

※支出に係る領収書その他の証拠書類を添付すること

領収証

四日市市議会 公明堂 様

No. 1942

金額	¥	18056
----	---	-------

但 11-7 料 ¥14,220 合計料 ¥3,836

2026年 1月 23日 上記正に領収いたしました

収入  
印紙

内訳

現金	/
小切手	/
手形	/
消費税額等 (%)	
コード 44-370	

T8-1900-0101-5129

株式会社 **エスエルエフ**  
 〒518-0074 四日市市鶴の森一丁目14番11号  
 TEL 059-353-8871 (内)  
 FAX 059-353-8111 (内)

